

新たな本との出会いでステイホームを充実

11月1日(日)／生涯学習センター（大字大島）



杉戸町立図書館主催、発足20周年を迎えた杉戸町図書館友の会の協力により「リベンジ! 図書リサイクル会」が開催されました。毎年図書館まつりで実施されていた図書リサイクルですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は中止となってしまったため、読書週間にあわせてリベンジ企画として実施されました。

2日間の実施で約250名の方が来場されました。訪れた方は新たな本や懐かしい思い出の本と出会い、自宅での読書タイムを楽しんだことでしょう。（広報特派員 渡辺 光子）

たくさんのケーキに心躍る

11月5日(木)／杉戸町内（大字堤根）



杉戸第三小学校の2年生の児童が生活科の授業「まちたんけん」で、地元のケーキ屋さん「ストロベリーショートケーキ」を訪問しました。シェフの本多さんにたくさん質問をしたり、お店の中を見学させてもらったりしました。素敵なケーキを見て、子どもたちはキラキラと目を輝かせていました。

11月の生活科の授業で子どもたちが掘ったさつまいもで本多さんのお菓子を作ってください、お土産としていただいたそうです。笑顔になってほしいという気持ちでケーキを作っていると話す本多さん、今日もまた、子どもたちが笑顔になりましたね。子どもたちにとって嬉しい一日となったことでしょう。（広報特派員 木村 沙織）

収穫の秋を楽しむ

11月14日(土)／杉戸第三小学校区（大字堤根）



杉戸第三小学校区の三葉子ども会の毎年恒例となっているさつまいも掘りが行われました。5月30日に、地域の方が100株の苗を植え付けてから約半年、収穫の日を迎えました。今年は天候の影響もあり、不作だったようですが、子どもたちは楽しそうにさつまいも掘りに夢中になっていました。

コロナ禍の中でも、なんとか子どもたちのために! という地域の方々の思いが伝わってきました。（広報特派員 木村 沙織）

特派員レポート

広報特派員によるスナップレポートをお届け

きれいな花でみんなを元気に

10月29日(木)／アグリパークゆめすぎと（大字才羽）

杉戸町明るい社会づくりの会では、毎年春と秋の2回、アグリパークゆめすぎとの花植えに参加しており、今年もパンジーや葉ボタン等の植え付けをしました。

お客さんが楽しんでくれることや町のシンボルでもあるアグリパークゆめすぎとを住民の手で守っていく気持ちでこれからも協力していきたいとお話されていました。

皆さんの協力により、きれいな花が見られるのは、とても嬉しいですね。



（広報特派員 坂本 吉江）

身体を動かし、清々しい秋の季節を感じる

11月1日(日)／杉戸町内（泉地区）



清々しい秋晴れの中、泉地区内にて杉戸町の魅力を再発見する「杉戸宿ウォーク2020」が開催され、老若男女36名が参加しました。

エコ・スポいずみを出発し、秋の江戸川土手散策、園芸場見学、柿狩り体験と約8Kmをウォーキングしました。

泉地区の自然と実りを感じることができるいい機会となりました。（広報特派員 古谷 文子）

仏教の奥深い世界へ

11月1日(日)／生涯学習センター（大字大島）



生涯学習センターにて、仏教講座が開催され、20名の方が参加されました。800年前鎌倉時代に生まれ、90歳で生涯を閉じた親鸞聖人の教えを書いた「歎異抄」について学びました。親鸞聖人の人物についての説明や歎異抄についての解説があり、とても勉強になりました。（広報特派員 渡辺 光子）

11月21日(土)／コロナ配慮の避難所訓練

地域で育む共助の力

町では、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所の開設・運営訓練を杉戸第三小学校体育館（大字堤根）で行いました。

大規模な災害が起きた場合、行政による手立ての限界が予測され、地域の自主防災組織等の活動による「共助」が、被害を軽減するうえで大きな役割を果たすことが期待されています。

くらし安全課



当日は、避難所の密を回避するために設置する避難所用パーティションの組み立てや、避難者の受け入れ手順などを確認しました。

11月25日(木)／（公社）埼玉県宅地建物取引業協会と協定締結

空き家取引業務の適正化・円滑化を図るため

町では、空き家バンクを運営するにあたり、（公社）埼玉県宅地建物取引業協会埼玉支部と「杉戸町空き家バンク媒介等に関する協定」を締結するため、調印式を行いました。これにより、空き家の取引に関する業務を、適正かつ円滑に行うことが可能となるため、今後、杉戸町への移住・定住促進につなげてまいります。

くらし安全課



（写真右から）山崎理事、堀野埼玉支部長、古谷町長、小山理事

堀野埼玉支部長コメント：宅建業者の知識と経験を活かし十分にお役に立てるよう、最善を尽くします。

古谷町長コメント：空き家の流通が促進され、地域の活性化につながっていくことを期待しています。

11月27日(金)～29日(日)／第13回杉戸町障がい者週間記念事業

個性を尊重し、支え合う「共生社会」をめざして

町では、障がいのある方の社会参加への意欲を高めるとともに、「障害者週間（12月3日～9日）」を通じて、一人でも多くの方に、障がいや障がいのある方に対する理解を深め、身近なこととして考えていただけるよう、第13回杉戸町障がい者週間記念事業を実施しました。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、障がい者団体の活動や作品等の展示及び企画展として「第7回すぎとアールブリュット展」を開催しました。

福祉課



事業開催期間中は、約250名の方が訪れ、展示品を熱心に鑑賞していました。

10月29日(木)／秋の花植え

きれいな花でみんなをお出迎え

今年も人と人との繋がりを大切に活動が続けているコミュニティづくり推進協議会の会員が集まり、アグリパークゆめすぎと内（大字才羽）にある花壇に花の苗を植えました。正面入口は、町内で生産されたパンジーや葉ボタンなどの花でいっぱいになりました。

住民協働課



アグリパークに来ていたお客さんから、「花が満開になるのを楽しみにしています。」との声をいただきました。

11月1日(日)／壮年テニス大会結果

日頃の練習の成果を披露

南テニスコート（大字堤根）にて、34組のペアが競い合いました。当日は好天に恵まれ、白熱したゲームの連続に、会場内は大いに盛り上がりしました。

社会教育課



大会結果（敬称略）／男子 優勝「信田寛、群嶋政司」、準優勝「野原宏、小林雄一」、3位「山崎善久、中村浩一」、[佐藤周平、豊田裕光] 女子 優勝「植木寿子、石野美智子」、準優勝「須貝裕美、神葉子」、コンソレ優勝「田川秀美、齋藤博」、[森田智愛、住吉智子]

11月10日(火)／マスク等寄付贈呈式

町へマスク等の寄付をいただきました

レクイエム聖殿株式会社様から、新型コロナウイルス感染拡大防止策として活用してほしいとのご意向により、マスク351枚やトイレトペーパーの寄付をいただきました。

財産管理課



（写真右から）レクイエム聖殿 中嶋部長、古谷町長

中嶋部長コメント：コロナ禍で以前とは異なる状況を余儀なくされている方を目にする機会も多く、お役に立ちたいと思い、寄付をさせていただきました。古谷町長コメント：地域のため寄付していただき、大変ありがたく感じています。いただきましたマスクなどは、必要としている方へ配布したいと思います。